

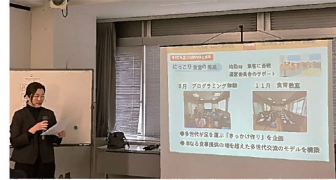
7団体の取り組みを報告し、実践内容から組織運営や活動のポイントを学ぶ研修会には、15コミ協、31名が参加しました。

内容

- 事業説明・令和5年度開始団体の取り組み紹介
- 令和6年度開始団体による取り組み発表
- 参加者どうしの意見交換

まず、講師から事業目的等を説明し、令和5年度に事業をスタートした4団体の取り組み内容と活動のポイントを解説しました。続けて、令和6年度スタート3団体の事業担当者が取り組み内容を発表。その後は、各コミ協の悩みや解決の工夫などが参加者どうしで活発に話し合われました。

7団体の取り組み発表など他の団体の具体的な活動内容と、うまく進められているポイントが参加者にとって学びと刺激になりました。「他のコミ協の取り組みが参考になった」「人材や予算が少なくても工夫している」「インターネットによる情報発信を進めたい」「子どもや若い人材をもっと巻き込みたい」「わが地域で取り組めることを考えたい」といった、課題解決に前向きに取り組む姿勢が感じられる意見が寄せられました。この学びを今後の活動に活かしていただくことを期待します。



各団体の取り組みから見えてきた運営と活動のポイント

メンバーの“得意”を活かして  
適材適所の役割分担+情報共有

とにかく“やってみる、  
やってみて検証し次に活かす

住民や関係者の“声”をしっかりと把握し、活動  
に活かす=住民ニーズに応える

“稼ぐ、視点を持ち自立化を意識する

地域内に丁寧に周知 (自治会との情報共有)

“見える化”は問題の深掘りや解決策を見つけ  
やすくするだけでなく、関わる人たちとの情報共有にも有効

子どもたちを巻き込む (学校とも協力)

限られたマンパワーや時間の中で、“どうやっ  
たらできるか”を考える (効率化などの工夫)

事業の目的や目標を随時確認

7団体はそれぞれのホームページやSNSで取り組み内容を広報しています。また、地域力UPチャレンジ事業をはじめコミ協に関する情報は新潟市のホームページでご覧いただけます。名称で検索するほか、右側の二次元コードからアクセスしてください。

上所コミ協  
ホームページ



西内野コミ協  
ホームページ



間瀬未来会議  
Facebook



地域の浜茶屋  
Instagram



濁川コミ協  
Facebook



曾野木もりあげ隊  
Instagram



小須戸コミ協  
ホームページ



新潟市  
ホームページ



# 地域力UPチャレンジ事業 ニュースレター

発行：新潟市市民協働課 (TEL) 025-226-1105  
協力：NPO 法人まぢラボ

令和7年度の事業内容

団体ごとの活動(7団体) 補助金で支援(新潟市)

※補助金を利用して専門家が伴走支援した団体もあります。

運営と活動のポイントを学ぶセミナー(全コミ協対象)

ニュースレターの発行

「地域力UPチャレンジ事業」は、地域課題を解決しながら持続可能な地域づくりを行うため、令和5年度から始まった支援事業です。「人材育成」と「持続性のある運営や活動のしくみづくり」を目的としています。初年度に専門家が伴走しながら事業計画をつくり、2年目から3年間の実践で課題解決を進め、併せて活動の自立化・持続化を図ります。

現在、7団体がそれぞれの地域の課題に向き合い活動中。どの団体も計画に基づき、着実に取り組みを進めています。

また、今年度は7団体の取り組み報告をもとに、全コミ協を対象に組織運営や活動のポイントを学ぶ研修会も開催しました。地域ごとに実状や課題は異なりますが、7団体の実践の中から見えてきた取り組みのポイントが大きな学びとなりました。

令和7年度の各団体の取り組み内容は中面をご覧ください。それぞれのホームページやSNSでも発信しています(裏面参照)。

取り組み中の団体はこちら!

令和5年度開始

- 1 上所校区コミュニティ協議会(中央区)  
新駅を地域で育てる
- 2 西内野コミュニティ協議会(西区)  
西内野 地域力UPチャレンジ事業
- 3 岩室地域コミュニティ協議会(間瀬未来会議/西蒲区)  
空き家・空き地リユースプロジェクト

令和6年度開始

- 4 角田地区コミュニティ協議会(西蒲区)  
地域の浜茶屋プロジェクト
- 5 濁川地区コミュニティ協議会(北区)  
にぎりかわ未来づくりプロジェクト
- 6 曾野木地区コミュニティ協議会(曾野木もりあげ隊/江南区)  
たんぼマルシェプロジェクト
- 7 小須戸コミュニティ協議会(秋葉区)  
町屋・空き家の再生とまち歩きガイドの育成



## 新駅を地域で育てる

### 上所校区コミュニティ協議会

～駅周辺の環境保全と地域活動の輪を広げる～

昨年3月の上所駅開業に合わせ、「上所駅サポート隊」を結成。開業直後から利用者の安全確保のために、道路横断の誘導活動を続けてきました。



また、開業後の地域の状況変化を確認するための住民アンケートや、駅利用者へのアンケートを実施。駅利用者からはサポート隊への感謝の言葉もありました。一方で不便や不安な点もわかり、整備を続けるJRや新潟市に伝えようと自ら今後の取り組みにも活かしていきます。

主催した開業1周年イベントでは、鳥屋野中学校の協力のもと生徒がイベントグッズを制作し、当日は子どもたちや住民が参加するなど活動の輪を広げつつあります。



イベントでは中学生手作りのうちわを電車で振って嬉しい

## 空き家・空き地リユースプロジェクト

### 岩室地域コミュニティ協議会（間瀬未来会議）

～地域の価値向上と移住促進～



令和6年度に作成した空き家マップをもとに、地元の大工さんとともに活用候補とする空き家を確認したり、一部交渉を始めました。難航することもありましたが、地域内への周知を丁寧に行ってきたことで、新たな情報や協力を得られ前に進んでいます。3月には空き家対策の勉強会を開催。来年度は利活用に着手する予定です。

移住・定住促進としては地域内外へ間瀬の魅力を発信。毎年行う「間瀬盆踊り」では子どもも楽しめるプログラムを取り入れるなど集客に努め、住民が地域を見直す機会としました。



これらの取り組みでは地元のお店や大学生を巻き込んで協力を確保し、実行体制も固めています。

## 西内野 地域力 UP チャレンジ事業

### 西内野コミュニティ協議会

～地域活動への参加促進による持続可能な地域づくり～

西内野コミ協では、昨年度実施した中学生以上全住民アンケートの結果をもとに、活動の見直しと新たな取り組みを進めています。

より住民に求められる活動へ転換するため、既存事業の見直しに着手。自治会部会では情報交換だけでなく、地域課題に対応する研修会を実施したり、防災訓練では新たなプログラムを取り入れたり。一部の事業は休止して、あり方を再検討することにしました。



災害時の車いすの利用を訓練で実施

さらに、コミ協や活動を広く知ってもらうためのホームページを立ち上げ、併せてSNSでの情報発信も開始しました。情報発信は更新が重要であるため、そのための体制づくりも検討しています。



Instagram画面

## 地域の浜茶屋プロジェクト

### 角田地区コミュニティ協議会

～移動式の多世代交流の場づくり～



多世代の住民が集い交流する「地域の浜茶屋」の開設に向け、地域内のイベントに参加するほか主催事業「浜茶屋キッチン」も展開し、ノウハウの習得や地域ニーズの把握、協力者の確保を進めています。

地域のイベントでは、伝統食である「しよっからイワシ」を活用したおにぎりを商品化し販売。オリジナルグッズも制作し、収益確保にも取り組み始めました。

また、越前浜小学校の子どもたちとともに、地域内のメダカ屋さんの看板を制作。子どもと地域のお店をつなぐ役を果たすとともに、地域の浜茶屋の認知が広がっていることが確認できました。



メダカ屋さんの看板

## にごりかわ未来づくりプロジェクト

～未来志向の活動への転換で安心して住み続けられる地域に～

濁川コミ協は、地域活動の担い手不足を解消し、住民が協力し合った地域づくりを進めようと、地域内の組織やコミ協活動を大胆に見直し、多様なプロジェクト（右記）ごとにチームを作り推進しています。

取り組みの中で重要だったのが、コミ協や自治会などの組織とその活動を棚卸しして「見える化」。明らかにした実態や課題をもとに、対話を繰り返し役割分担を検討しました。さらに、ホームページの開設や自治会ハンドブックの作成につなげ、地域内への周知も進めています。

今年度は試行しながらの新たなしくみの「土台づくり」。今後も「取り組みを進めながらより良く変えていく」をモットーに目標に向かいます。

自治会ハンドブック

## 濁川地区コミュニティ協議会

### 取り組み内容

- にっこり食堂の運営サポート  
多世代が参加できるプログラムを導入
- 防災訓練アップデート  
当事者意識を高めるための夜間防災訓練
- 「虹いろの小道」リニューアル  
アンケート調査と月1回の除草清掃活動
- 中学生部会の立ち上げ  
「地域活動の部活化」検討・受け入れ基盤づくり
- 情報発信と組織基盤の強化  
ホームページ開設・自治会ハンドブックの作成・地域団体の再編を考える会議



## たんぼマルシェプロジェクト

### 曾野木地区コミュニティ協議会（曾野木もりあげ隊）

～多世代交流と買い物支援で関係づくりと担い手育成～

買い物をしながら多世代が楽しめる場とする「マルシェ」を定期的に開催し、地域課題の解決を図ろうと取り組む曾野木もりあげ隊。今年度は取り組みの周知とニーズ把握、ノウハウの蓄積のため、実験的に2回開催しました。



6月の初開催時には、地元の飲食店や農家、雑貨屋などが出店し、体験プログラムや子どもたちのダンスパフォーマンスなども取り入れ、予想以上の人出で大盛り上がり。やってみることで今後に活かせる学びも多く得られました。また、多忙な現役世代が取り組むため、「会議は月1回で効率的に」「マニュアル作成」「印刷物などの定型化」「効果的な広報の追究」と、進め方も工夫しています。

来年度は回数や出店者・協力者を増やして開催し、地域ニーズに応えながら持続させるやり方の検証をさらに進めていきます。

## 町屋・空き家の再生とまち歩きガイドの育成

～空き家（町屋）活用による交流人口拡充～



小須戸コミ協は、この地区の特徴である「町屋」を空き家から再生し、まちを楽しむ拠点として活用、住民どうしの交流や来訪者を増やして地域経済の活性化につなげようとしています。

昨年度の調査を経て、持ち主との交渉がうまくいった旧「巴里軒」。ここをできるようにメンバー自身で修繕作業を行いました。8月のお祭りに合わせて一般公開した後は季節ごとにイベントで活用しています。こうした取り組みが各所から注目され、新潟市内外からの視察やまち歩きがこれまで以上に増えました。



### 小須戸コミュニティ協議会